

| 用語 | 説明 | |
|-----------|------------------------------------|---|
| せ | | |
| 生活賃金 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 賃金は労働者自身とその家族の一定の生活を保障する水準であるべきだという思想に基づいて算定された賃金のこと。この思想は 19 世紀末の英国労働運動の過程で生まれたといわれるが、その内容は時代の変遷とともに変化してきている。例えば、この思想をもとに 1923 年、英国労働党政権が考案したマーケット・バスケット方式でも、当初は単に最低の生活水準の維持に必要な食料の品目と数量を定め、それにより購買する費用を算出し、賃金の基準としたが、その後、費目の対象が住居費、雑費等の全生計費目に拡大されるようになった。 |
| 世界経済フォーラム | WEF | <ul style="list-style-type: none"> ● グローバルかつ地域的な経済問題に取り組むために、政治、経済、学術等の各分野における指導者層の交流促進を目的とした独立・非営利団体である。 ● 1971 年、スイスの経済学者クラウス・シュワブによって設立された。財源は世界各国の企業や団体からの寄付金で、主な活動は、年次総会、地域サミット、一般会合など年間を通して実施されるフォーラムの開催である。組織の運営を支えているのは世界約 1,000 の企業や団体で構成される法人会員で、情報や人的ネットワークの提供、フォーラムへの参加などによって WEF の活動を支援している。 ● 毎年 1 月下旬にスイス・ダボスで開催されることが慣例となっている年次総会（通称、ダボス会議）では、幅広い分野のビジネス・リーダー及び政府・国際機関のリーダー、メディア・リーダー、著名な学者等、各国の要人が参加して各種会合等が行われる。 ● UNI 書記長も ITUC/GUF と共に国際労働組合運動の代表として出席し、労働者の声を代弁。 |
| 責任ある企業行動 | Responsible Business Conduct (RBC) | <p>CSR（企業の社会的責任）が、市民社会からの企業行動に対する期待に応えるための民間による自発的なイニシアチブであるのに対し、RBC はそれに加え、人権の尊重、環境の保護、労使関係、金融上の説明責任等に関わる普遍的な法律を企業が自発的に遵守する行動も伴う。企業は「OECD 多国籍企業行動指針」を実施していく上で、その事業、サプライチェーンおよびその他ビジネス上の関連する可能性のある労働者、人権、環境、贈収賄、消費者およびコーポレート・ガバナンスに対する負の影響を回避・対処する必要があるものであり、これを支援するために OECD は、2018 年に「責任ある企業行動のための OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンス」を策定している。</p> |

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>セクシャル・ハラスメント (性的嫌がらせ)</p> | | <p>相手方の意に反する「性的な言動」により相手を不快にさせ、働く環境を悪化させる行為のこと。これまで、セクハラは「男性が女性に対して行うもの」というイメージがあったが、近年では女性から男性、同性間、さらに「LGBT (性的マイノリティ)」に対するセクハラも多くなっている。</p> |
| <p>ゼロ時間契約</p> | | <p>週当たりの労働時間が明記されない形で結ばれる雇用契約。労働者は、雇用主が必要とする時間のみ就労し、報酬は就労時間に対してのみ支払われる。契約上、雇用主には仕事を提供する義務はなく、その一方で労働者も仕事を引き受けるか否かを任意に決めることができる等、雇用主と労働者双方にとって「必要に応じた」柔軟な勤務形態を可能にする契約とも言える。</p> <p>雇用主にとっては、ゼロ時間契約労働者は調整が安易であり、年金等の社会保障費や解雇手当等の負担もなく、人件費を抑えることができる。このため 2000 年代以降、英国をはじめとして低賃金の職種で急速に増え、現在では専門職にも広がっている。日本ではこうした労働者は「オンコール労働者」とも呼ばれる。労働者は常に待機状態であることを求められ、待機時間は無報酬である。休暇手当等の正規労働者が持つ権利がなく、労働者にとっては勤務時間が不確定であり、時には働けないこともあるので、所得が非常に不安定になりやすい。</p> |